

1 計図をもとに、金属などを刃物で削って既定のサイズ・形状に整えていく加工チーム。社内には最新鋭の機械が数多くあり、高精度の加工も可能だ 2 高まる需要に応じる形で設備投資を行い、今年は第4工場を新設した 3 時に数百にも及ぶ部品が丁寧に組み立てられていく 4 エイブル精機本社 5 「世の中にないものを発想力で生み出せるのが面白い」と語る西山社長。自身も設計技術者だ

# 有限会社 エイブル<sup>せいき</sup>精機

26  
LEADING COMPANY

## 世界最先端の技術で 不可能なものを可能にする



### 少数精鋭、一貫体制で FAシステムを開発製造

人口減少問題が深刻化する中、コンピュータ制御や産業ロボット、IT技術などを活用し、生産工程の自動化を図るファクトリーオートメーション（FA）の需要が高まっている。製造業の現場で発展してきたが、サービス業界でもニーズが急増。《有限会社エイブル精機》は、世界シェアトップレベルのスマートフォンの部品や大手自動車メーカーの部品生産工程自動化を実現し、全国から注目を集めている。

1990年に設計事務所としてスタート。設備投資を進め、自社で加工や組み立てまで行える体制を整え

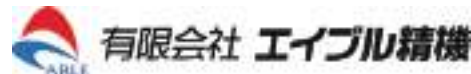
ていった。初期の取引先のメインは家電メーカー。続いて携帯電話やスマートフォンの部品を生産する工程の自動化に着手し、現在は自動車部品製造の自動化省力化を実現するシステム開発が売り上げの多くを占める。西山靖夫社長(52)は、「世界最先端の精密機械を生み出せる技術力があつたからこそ、自動車にもシフトできました。変化できるものが生き残れるのです」と胸を張る。R&D（研究開発）を推し進めつつ、半導体など新分野へも進出。取引先の約95%が県外企業だ。

同業他社との差別化を狙い、CNC旋盤とマシンングセンターの機能を併せ持つ複合加工機や、1回の段取りで多面加工できる五軸加工機

など最新の機械を積極的に導入。少ない社員数にも関わらず、設計から組み立てまで一貫体制を取ることで、スピードやコスト面で優位に立っていた。難易度の高い設備の受注を数多く請け負うことは、さらなる技術力向上にもつながっている。「発想力で、ゼロから形あるものを生み出すのが醍醐味。Aに代替される仕事が話題になっていますが、Aの上を行くのが我々の仕事です」

培った技術の継承を狙って若手の雇用を推進しており、社員の平均年齢は30歳代後半。社内外での研修や資格取得支援にも力を入れる。不可能なものでも可能なものにする——それが「エイブル」。社名を体現し続けている。





## 有限会社 エイブル精機

### 事業内容

各種省力化機器の設計・製作

創業 平成3 (1991) 年3月25日

代表者 代表取締役 西山 靖夫

社員数 32名 (男25名 女7名)

本社 鳥取県米子市和田町1415-2

電話 0859-25-1811

### 採用エリア (勤務地)

松江市、米子市、安来市、倉吉市

### 採用担当者からあなたへ

〈未経験でも大丈夫?〉  
職人集団の会社ですが、入社した7割の方は未経験または異業種からの転職です。入社してからしっかり教えますので、安心して応募ください。

また、繊細さがもとめられる仕事もあり、多くの女性が活躍している職場です。

〈こんな人が向いています!〉

○プラモデルやラジコンをつくるのが好き

○ピタゴラスイッチが好き

○細かい作業が好き



経理部  
安達 叶子さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0859-25-1811

採用直通 E-mail

able@able-seiki.co.jp

公式サイトは  
こちら



マッチングサイトは  
こちら



動画サイトは  
こちら



### 高性能機械で 技術力磨く

普段使っている複合加工機は、山陰でも保有している会社が少ない高性能機械。複数の回転工具を使い分けられるため、旋盤加工に加え、穴あけやフライス加工も可能だ。しかし、高精度の仕上げは技術者の腕に任されている。「成長あるのみです」



### ものづくりの魅力に惹かれ、異業種から転職

結婚を経て、長崎県から米子市へターン。営業だった前職時代に広告媒体制作に携わり、ものづくりへの関心が生まれた。「デザインやレイアウトを考えながら一つの形に仕上げていくのが面白くて。大手メーカーで使われる産業用ロボットの設計から組み立て、納品まで一貫体制で行っている当社を知り、門をたたきました」。高校では商業を学び、金属加工は門外漢。先輩らに指導を受け、ゼロから学んでいった。

部品加工は、使う材質や刃物の選出から始まる。「金属だけでも数十種類ある上、樹脂なども使用。

用途に適したものを選び、複合機で加工していきます。小さいものでは仕上がりが数ミリの部品も。わずかでも削り過ぎると組み立てることができず、性能にも影響が出るため、少しずつ削ってはマイクロメーターで測りながら高精度の部品に仕上げている。

「製造業未経験で当初は苦労しましたが、今は、全く同じ部品を手掛けることがなく、毎回チャレンジできる現場が面白くて」と目を輝かせる大坪さん。自身の経験を生かし、不安を抱く先輩らへのサポートにも力を注ぐ考えだ。



加工部加工グループ  
大坪 勇汰さん(30)  
2020年入社



### 挑戦し続け 見つけた道

高校卒業後、情報経営を学ぶ短期大学に進学したものの、しっくりこずに中退。飲食業界でアルバイトをしたり、工場勤務を経験したりする中で唯一楽しく感じたのがポリテクセンターの授業だった。「今では、自分にもづくりが向いていると確信しています」



### オーダーメイドで生産設備を設計

生み出す機械はほぼすべてオーダーメイド。顧客の要望を実現できるよう構想を練り、ゼロから図面に描き起こしていくのが設計部の仕事だ。「一つの機械は基本的にすべて一人で設計するのが当社のスタイル。一貫した考えで取り組めるので気に入っています」。手掛けるのは自動車部品関連が多いが、食品製造や住宅メーカー、半導体設備など業界は多岐に渡る。「コンペア上の部品を人が取って、目視でチェックしていた工程を自動化したり、規格住宅に使われる5メートルもの柱を機械で搬送、切断できるような設備を作ったりと本当にさま

ざま。自分が描いた図面が実物の設備となり、さらにはそこからものが生み出されていく。楽しい作業です」

高校卒業後、やりたいことが見つからず、進路に悩む日々が数年間続いた亀尾さん。ポリテクセンターのCAD・NC加工技術科でのづくりを経験し、興味を覚え始めた。「ファストフード店でのバイト経験があり、接客業に向いていると思い込んでいましたが、実際はものづくりが性に合っていたようです。何事も挑戦が大事ですね」



設計部メカ設計グループ  
亀尾 賢太郎さん(25)  
2019年入社



### 高い精度と スピードを

「一人で黙々と作業するのは性に合っていますが、納期に間に合わせるのが大変」と苦笑する生田さん。経験の浅さがスピードに影響し、焦ることも少なくない。今は先輩社員に頼ることも多いが、早く独り立ちし、精度の高い技術を身に付けるのが目標だ。



### 100分の1ミリの精度を追求

約半年間、ポリテクセンターで機械製図や加工技術の基礎を学んだのちに就職。旋盤で金属の塊を削って形に仕上げていく過程が想像以上におもしろかった。「設計は自分には難しくて(苦笑)。でも加工は楽しかったんです。在校中に見学した当社の雰囲気良かったので入社を決めました」

設計部が描いた組立図面を見ながら、時には数百にもおよぶ部品を組み立てて、生産設備を造り上げていく。「大きなプラモデルみたいな感じでしょうか。入社当初は図面を読むのも四苦八苦していましたが、今は、何となく完成した形が頭に浮かぶよう

になりました」と頭をかく。最近、トイレの部品をカットして移動させる工程や、水のろ過装置の自動化などに関わった。業種もメーカーもさまざまだ。

部品は数センチのものから1メートル近くのものまで大きさも形状も違い、組み立てるには100分の1ミリ程度の精度が求められる。「あまりにも作業がうまく進まない時には、上司にアドバイスをもらったり、設計部に図面を描き替えてもらったりすることも。相談しやすい職場なので仕事はやりやすいです」



技術部組立グループ  
生田 将己さん(25)  
2022年入社

